

経営とくらしを守れ 経済・金融危機突破!

2・12全国中小業者決起大会



日時 09年2月12日(木)
12時開場・12時30分開会

会場 東京・日比谷公会堂
主催 全国中小業者団体連絡会

大会スローガン

- ◆消費税増税計画を撤回し、生活必需品を非課税にせよ
- ◆金融機関の貸し渋り・貸しはがしをやめさせよ
- ◆緊急保証の業種指定と部分保証を撤廃せよ
- ◆中小業者に仕事を回し、雇用を守って地域振興をはかれ
- ◆中小業者切り捨てをやめ、公正な取引ルールを確立せよ
- ◆助け合い共済への規制と干渉をやめよ
- ◆後期高齢者医療制度を中止し、国民のいのちと健康を守れ
- ◆自衛隊派兵をやめ、憲法9条、平和と民主主義を守れ

全国中小業者団体連絡会（全中連）

〒171-8575 豊島区目白2-36-13／TEL 03(3987)4391(代)

全国中小業者団体連絡会（全中連）は、日本経済を支える中小業者の繁栄と生活の向上を図るため、中小業者運動を促進することを目的に、1972年10月、28業者団体が自主的に集まって結成されました。

現在、全国中小業者団体連絡会には、全国商工団体連合会、全国保険医団体連合会、全国貸本組合連合会、全国フランチャイズ加盟店協会の中央団体のほか、北海道から沖縄まで31都道府県の中小業者団体連絡会が参加しています。

本会運営の原則は、団体相互間に対等平等であること、一致した要求で行動すること、諸団体それぞれ独自性を尊重しあうことの3点です。すべての参加団体から幹事を出し、幹事会は全員一致によって方針を決定することとしています。

本会は、その時々々の課題で、全国および地方の中小業者団体とも協力し、中小業者運動を多彩に推進してきました。

中小業者の事業と生活の死活的問題である「消費税」の導入反対で、世論に先駆けた運動を担い続けてきたことをはじめ、「大店立地法の抜本強化」「下請業者の単価引上げ」「米・酒の小売り・書籍の再販などの規制緩和反対」「家電量販店の不当廉価の規制」「中小建設業分野の確保」「社会保障制度の拡充」など、中小業者の事業と生活の維持・発展にとって緊急切実な要求を政府や世論に訴える運動で、貴重な役割を担ってきました。

また、税制問題や中小企業政策、金融問題など、時代の要請に沿ったテーマで海外視察や勉強会を主催するなど、社会・経済の変化に相应しく自らの成長を培い、次代を生き抜くための独自の活動も続けています。

1999年の中小企業基本法の「改正」で中小企業政策は大きく転換され、長引く不況も重なり業界の再編・統廃合がすすめられるなど、存亡の危機に立たされている中小業者団体も少なくありません。しかし、欧州などでは経済の発展・成長、雇用創出や地域の発展に対する中小業者の役割が注目され、中小企業政策が経済政策の柱に据えられ振興がはかられています。

全中連はこの21世紀に中小業者がますます繁栄し、豊かな国民生活の実現に貢献することを願って、業種を超えた連帯を広げていきたいと考えています。

沿革

- 72年10月 28業者団体により、全国中小業者団体連絡会結成
- 75年11月 付加価値税新設反対などを掲げ、日本武道館で全国中小業者1万人集会を開催
- 76年 3月 「中小企業分野確保法制定大会」参加など、同法制定に貢献
- 86年10月 大型間接税反対などを掲げ、全国中小業者2万人大集会を開催
- 98年 2月 貸し渋り問題で都銀9行に申し入れ
- 2001年 9月 不良債権処理問題で経済産業大臣らと懇談
- 2001年11月 EU小企業憲章、OECD中小企業憲章とその政策展開の調査を目的に欧州視察団を派遣
- 2003年 1月 「世界の納税者権利憲章」の出版を記念し、講演会と名刺交換会を開催
- 2005年10月 シンポジウム「地域振興と官公需のあり方を考える」開催
- 2005年12月 中国の市場経済の現状と中小企業の動向を調べることを目的に海外視察団を派遣
- 2008年 2月 業界懇談会「わが業界の課題と展望」開催

清水正美(しみずまさみ) プロフィール



「歌声喫茶ともしび」で歌うこと28年、声楽を二期会の大倉由紀枝氏に師事して20年。シャンソン、タンゴをはじめ各国の民謡・歌曲を歌い、そのレパートリーの広さと説得力のある歌唱は定評がある。

作曲家大西進氏の「金子みすゞ詩作（全512編）に作曲し、全曲を演奏会で発表する」という企画に共鳴し、2001年11月から毎月1回のコンサートを続け、2004年12月に完結。CD「清水正美の世界1～7」「金子みすゞ選集1,2」「千の風になって」が出版されている。

2・12全国中小業者決起大会

―次 第―

文化行事

清水 正美

(うたごえ喫茶ともしび)

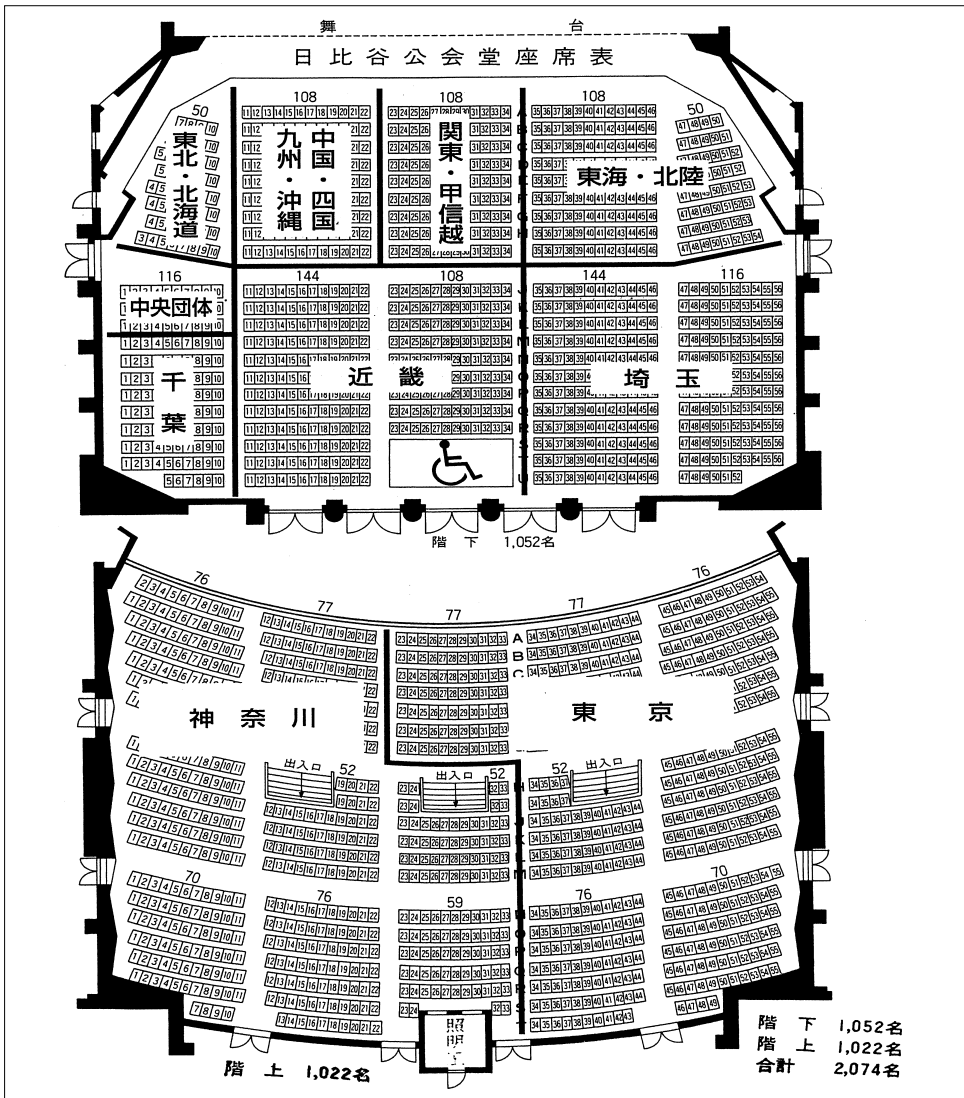
(午後1時開会)

- 一、開会宣言
- 一、主催者あいさつ
- 一、連帯あいさつ
- 一、参加者の決意表明
- 一、大会決議(案)の提案・採択
- 一、閉会あいさつ

○国会請願デモ

(会場→旧・永田町小学校裏)

デモ出発 午後2時40分



大会決議(案)

アメリカ発の金融危機を機に景気の底が抜けたような深刻な事態になっています。中小企業・業者は「先の見えない」崖っぷちに立たされています。大企業の「首切り」リストラにより街には失業者があふれています。下請業者は「根こそぎ仕事を奪われ」、売上の激減に苦しむ業者は銀行の貸しはがし・貸し渋りを受け、次々倒産させられています。

麻生内閣は、輸出頼みで内需をないがしろにしてきた経済政策の失敗を反省するどころか、相変わらず大銀行や大企業の支援を強めています。その上、国民から批判の強い定額給付金を強行し、消費税の増税を無理やり押し通そうとしています。

いのちと健康を脅かす事態も広がっています。払えない高額な保険料と保険証の取上げで無保険者が激増しています。療養病床の削減などの医療改悪や年寄りを差別する後期高齢者医療制度、介護施設の経営危機や人手不足など、病気になるっても安心して医療を受けられず長生きを喜べない事態になっています。こんな政治を続けさせるわけにはいきません。

今年は総選挙の年です。大企業応援の政治から、中小業者の経営と国民の暮らしを守る政治への転換を実現するチャンスです。事業所数の99%を占め、雇用の7割を占める中小企業が元氣を取り戻す

ことなくして景気回復などありません。中小企業・業者が経済の主役として希望を持てる政治への転換を求め、力をあわせてがんばりましょう。

消費税増税計画を撤回し、生活必需品を非課税にせよ
金融機関の貸し渋り・貸しはがしをやめさせよ
緊急保証の業種指定と部分保証を撤廃せよ

中小業者に仕事を回し、雇用を守って地域振興をはかれ
中小業者切り捨てをやめ、公正な取引ルールを確立せよ
助け合い共済への規制と干渉をやめよ

後期高齢者医療制度を中止し、国民のいのちと健康を守れ
自衛隊派兵をやめ、憲法9条、平和と民主主義を守れ

以上、決議します。

2009年2月12日

経営とくらしを守れ 経済・金融危機突破！

2・12全国中小業者決起大会